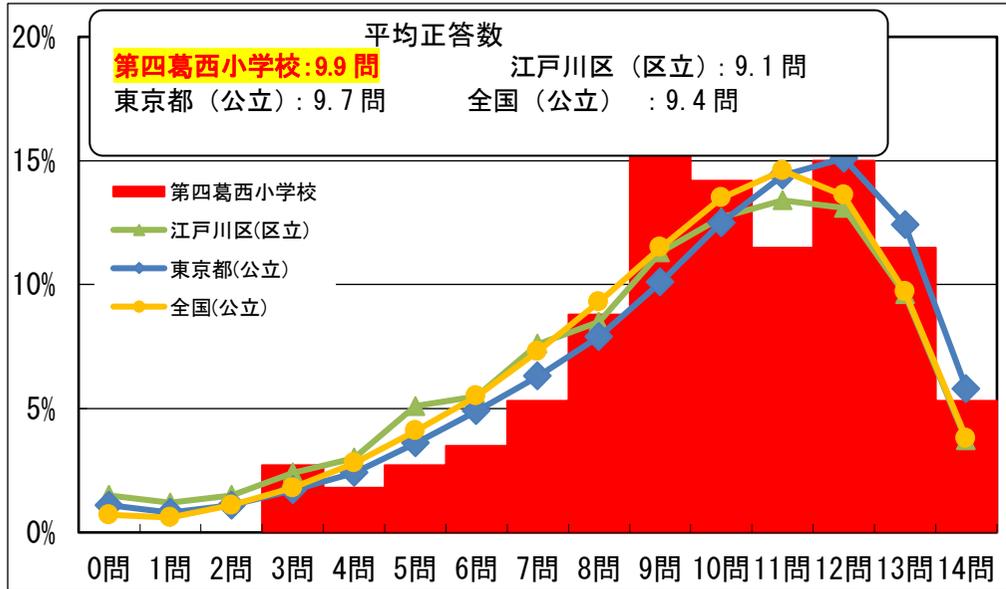


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 第四葛西小学校

## 正答数分布



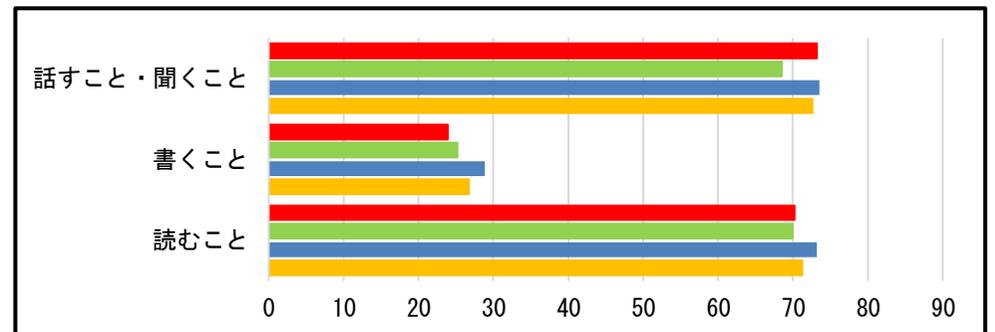
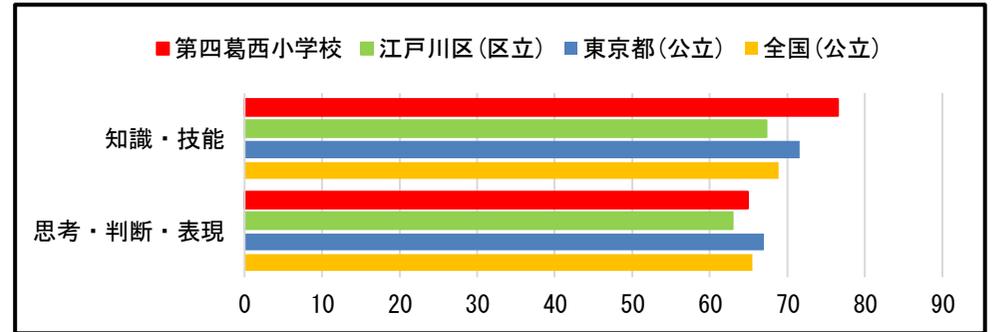
### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
<b>第四葛西小学校</b>	<b>31.9</b>	<b>25.7</b>	<b>26.5</b>	<b>15.9</b>
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合を示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

<b>第四葛西小学校</b>	<b>71%</b>
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	<b>2ポイント</b>

%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

本校の正答数分布は、全国、東京都、江戸川区と比較するとB層とD層の割合が低く、C層の割合が高い傾向がある。A層は東京都よりは低いが全国と江戸川区よりは高い。領域別に見ると、資質・能力において、知識・技能よりも思考・判断・表現の定着に課題が見られる。学習内容別では、話すこと・聞くことの定着は見られるが、特に書くことの定着には課題が見られる。この結果を受け、思考・判断・表現力の向上を図るため、児童の課題意識を高めた上でめあてを設定し、自分で考え、まとめ、発表する活動を設定する。また書く力を高められるよう、児童が目的意識をもてるテーマを設定し、書く視点を明確にする指導を行う。